

研究概要

研究名称 または課題名テーマ等

地域包括ケア病棟看護師の退院支援における困難と必要な支援に関する実態調査

2. 研究責任者(当院)

所属：A5

氏名：石谷裕美子

共同研究の場合は代表機関 及び 代表者名

なし

3. 分担研究者

なし

4. 研究対象者

聖隷佐倉市民病院において地域包括ケア病棟に勤務する看護師 19 名、2025 年 10 月～2026 年 9 月の間に退院した患者のうち、入院日数長期患者の匿名化されたカルテ データ

5. 研究の必要性

地域包括ケア病棟は急性期治療を経過した患者（ポストアキュート）や在宅療養中の患者（サブアキュート）の受け入れ、および「在宅復帰支援」を重要機能として担っている。しかし、多様な疾患や生活・家族背景を抱えた患者に対し、最長「60日」という限られた期間内で本人・家族が納得する意思決定を支援し、退院へと導くプロセスは複雑で困難を増している。当病棟では入院・入棟後1～2週間以内に多職種カンファレンスを実施しているが、退院支援の開始時期やアプローチの質には看護師間でばらつきが見られる。このばらつきは単なる経験年数の違いだけではなく、制度への理解不足、「60日」という入院期間に対する認識の乖離、患者と家族の強い不安、他職種と交渉における障壁など看護師が直面する困難は多岐にわたると推察される。これまで、当病棟の看護師が退院支援を行う際に「具体的にどのような困難や葛藤を感じ」「どのような支援・仕組みを必要としているか」の実態調査は行われていない。今回の研究によって、当病棟看護師の退院支援における困難と必要とする支援を明らかにする事で患者・家族と退院支援プロセスの改善の具体的な取り組みを検討するための実践的根拠となる。

6. 研究等によって生ずる個人への影響と医学上の貢献の予測

本研究によって地域包括ケア病棟看護師の退院支援における困難と必要としている支援を明らかにすることで今後の当病棟における退院支援の改善や具体的な取り組みを検討するための実践的根拠となる。

7. 対象者、関係者等からの問合せ先(当院)

連絡先番号：043-486-1151

担当者氏名：石谷 裕美子

対応時間：8:30～17:00（平日）

※ご注意

対象者とは、アンケート回答された方です。
お問合せは、回答された方と関係者のみで、その他の方へのご対応はできませんので、予めご了承ください。